

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	刑務所出所者等就労支援事業		担当部局庁	職業安定局派遣・有期労働対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	企画課就労支援室		就労支援室長		
会計区分	一般会計		施策名	(Ⅱ-1-3)高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	刑務所出所者等の多くは、①社会復帰後に十分な貯蓄や住居の確保がされていないこと、②前歴が故に社会から排除されやすいこと、③就労経験が少なく職業能力が不十分な者が多いこと等から、就労機会が制約され、就職が困難な状況にあるため、法務省と厚生労働省との連携により、刑務所出所者等に対して総合的な就労支援を行い、職業自立を図ることを目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	刑務所出所者等に対して、出所前において刑務所・少年院と安定所の連携によって出張職業相談等を行うとともに、出所後にあっては保護観察所と安定所の連携によって就労支援チームを設置し、きめ細やかな就労支援を行うものである。具体的には、ハローワークによる担当者制の職業相談、更生保護法人への委託による職場体験講習、試行雇用などの就労支援メニューを実施している。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	175	235	192	248	268	
	執行額	71	75	171				
	執行率(%)	41%	32%	89%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	就職者数	成果実績	人	2,138	2,089	2,203	2,200	
		達成度	%	97%	95%	100%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	支援対象者数	活動実績 (当初見込み)	人	5,843	6,371	6,870	—	
						(6,400)	(6,400)	
単位当たりコスト	24,909(円/人)		算出根拠	平成22年度執行額(171,122千円)を平成22年度支援対象者数(6,870人)で除して得た額。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	謝金	154	171	就職支援ナビゲーター配置数の増				
	旅費	10	11					
	庁費	31	33					
	委託費	53	53					
計	248	268						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>例年契約に基づく期日までに年度ごとの実施状況報告を受けており、各費用の使途を把握し、刑務所出所者等の就労支援を目的として適切に執行されていることを確認している。また、委託先においても、試行雇用奨励金等の支出対象者が適切であることについて確認しているほか、執行の状況等についても定期的に確認しているところである。</p> <p>例年予算要求に際して、前年度の執行状況等を加味する等して見直しを行っているところ、24年度においても実績、今後の行政需要等を的確に分析した上で予算額を見直し、要求額に反映させることとする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>刑務所出所者等就労支援事業は、執行状況を予算要求に反映すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>過去の実績を踏まえ、試行雇用奨励金の支給見込件数を見直した。(反映額:▲6百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

国

厚生労働省
(171百万円)

関係省庁・地方労働局との連絡・調整、地方労働局における実績の取りまとめ。

事務費
(2百万円)

印刷製本費、発送費等

【企画競争・委託】

A. 更生保護法人
日本更生保護協会
(40百万円)

職場体験講習の企画、試行雇用奨励金の支給等。

【予算示達】

都道府県労働局
(129百万円)

就職支援ナビゲーターによる職業相談の実施、保護観察所との連携による各種就労支援施策の実施等。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.(更)日本更生保護協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	刑務所出所者等の就労支援に必要な経費	31.4			
人件費	人件費	6.4			
管理費	事業に必要な管理経費等	0.3			
消費税	消費税	1.9			
計		40	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.更生保護法人日本更生保護協会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	更生保護法人日本更生保護協会	刑務所出所者等の就労による自立を図るため、セミナー及び事業所見学会を実施するとともに、試行雇用奨励金等の支給等による支援を実施する。	40	随意契約	